

当社は、2018年12月に、東洋大学の 福祉社会開発研究センターのシンポジウムに登壇しました。

当社は、2018年12月8日に開催された東洋大学 福祉社会開発研究センター 高齢ユニット主催のシンポジウム（テーマ：福祉分野におけるICT利活用の有用性と課題をめぐって）にて、災害時ICTサービス『ゆいぽた®』の利用に関する平時、災害時の高齢者対応、見守りについて登壇、機能の説明と福祉的な観点よりお話しをさせていただきました。

来場者からは集合住宅や地域における災害時の高齢者・要配慮者への対応などの課題についても積極的な議論がされ、『ゆいぽた®』を活用した災害時の「アナログ的な活動との相互補完」や具体的な導入に対してのご質問もいただきました。

当社は今後も、『ゆいぽた®』の災害時の有効性だけでなく社会貢献的な役割も念頭に、日本に住まうすべての人の防災・備災を推進していくために、様々な活動を続けてまいります。

シンポジウムの様子

災害時ICTサービス『ゆいぽた®』 の機能と高齢者対応の説明



パネルディスカッション の様子

